

第12回講演会・講習会を開催しました

8月19日（木）、20日（金）に、大阪府立生野聴覚支援学校とホテルアウリーナ大阪を会場に、第12回講演会・講習会を開催しました。今回は、医療法人明和病院耳鼻咽喉科医師の奥中美恵子氏に「医療現場からみた聴覚障害」と題してご講演をいただきました。連日の猛暑の中、200名以上の多くの方に参加していただき、活気あふれる会になりました。また、毎年、講習会会場としてお世話をいただいている大阪府立生野聴覚支援学校には、厚くお礼を申し上げます。

では、写真やアンケートからの感想を交えて、第12回講演会・講習会を振り返りたいと思います。



～ 講演会 ～

『医療現場からみた聴覚障害』

講師：明和病院耳鼻咽喉科
医師 奥中 美恵子氏

8月20日（金）午前中の講演会では、講師に明和病院耳鼻咽喉科医師の奥中美恵子先生に講演をいただきました。

幼児難聴外来を担当されている医師としての立場から、幼児難聴の原因、聴覚検査法、補聴器と人工内耳、新生児スクリーニング、聴覚管理、そして教育との連携についてと幅広い内容をコンパクトにまとめ、とてもわかりやすいお話でした。

乳幼児期にもっとも起こりやすい難聴原因である中耳炎については、ほとんどの子どもが中耳炎になるなか、聴覚障害児こそ、中耳炎で引き起こされる聴力低下による不利益が大きいことを指摘され、日常生活で注意し、早期に治療することの大切さを強調されました。また、長期的な追跡調査では、聴覚障害が発見された子どものうち、30%に聴力低下の進行がみられるということをお話され、聴覚管理の重要性を再確認させられました。

“医療との連携”と聞くと、人工内耳や新生児スクリーニングという言葉が思い浮かびますが、もっと多くの場面で、医療との連携が必要であることを改めて考えさせられました。

講演の中で、小児難聴の治療は、聴覚障害に対す診断や投薬などだけでなく、補聴器の装用による聞こえの保障までが治療になると言われ、特に教育との連携が大切であることを強調されました。教育との連携を大切にしたいと思っている奥中先生の話聞いて、とても心強く思いました。



アンケートから

～講演会について～

専門性の高いお話だったが、わかりやすく講義していただけてよかったと思う。さいごのまとめで、医療現場、学校現場、保護者の連携の大切さを強調されていたのが印象的だった。

耳鼻科疾患について詳しく説明いただいたことで、わかっていたつもりの難聴も、もう少し学ばなければ！！と感じました。そして、先生がおっしゃっていた「難聴児の聞こえに対する治療は聞こえの補償を行う(聞くことの学習)こと」という言葉が印象的でした。やはり、ろう学校での教育が大切なのだということを再認識しました。

とてもわかりやすく説明していただき、大変参考になりました。言語の習得、リハビリまでが治療ということばにとってもはげまされました。医師の方からそのようなことばをきけた事をととてもうれしく思います。

～講習会について～

「教育オーディオロジーの基礎」

具体的な内容で、実際に機器をさわらせてもらったので大変よかった。親切にくわしく教えていただき、本当に有難うございました。なごやかな雰囲気緊張せず質問も遠慮なくさせてもらえて有難かったです。

「オーディオグラムと補聴器の特性表」

すぐわかりやすくてよかったです。今まで点と点でバラバラだったものが一気に結びついた感じがすっきりしました。dBHL とdB SPL の違いまでできればもっとよかったですと思います。休憩5分でしたが内容がとても濃く充実した研修でした。ありがとうございました。

「自立活動〔小学部〕」

各校の取り組みの実例を紹介して頂き、大変参考になりました。各校が作成されている指導プログラムなども参考にして、自立活動を進めていきたいです。ありがとうございました。

「福祉制度」

身体障害者手帳や各給付金や割引制度についてとても分かり易く説明していただきました。また、原則・基準だけでなく、他県の先生方を交えて、それぞれの市町村・県の福祉制度の違いや事例を引き出して話を進めて頂いたので、制度について気をつける点やどの様に行政と関わっていくかなど、大変勉強になりました。

「難聴学級の取り組み」

4校の小・中学校難聴学級の先生が具体的な事例を提示しながらお話をくださいました。中でも二条中学校の取り組みは、難聴児を温かく見守りつつもたくましく育てる取り組みで、大変参考になりました。

「人工内耳（情報交換）」

どの学校においても装用児が増え、その後の学校での指導について課題になっていることがよく分かりました。病院によって装用後の言語指導やろう学校での教育についての考え方も大きく異なり、ろう学校としてどう対応してよいのか迷っているのが現状です。井脇先生のように医療としての考え方、教育としての考え方、ともに理解していただける方にアドバイスをいただけて、大変ありがたかったです。



人工内耳（基礎）



初めての心理検査



難聴学級での指導

「通常学級への支援」

グループ討議の時間がありよかった。自分が困っているケースがあるので、アドバイスもして頂けた。講義形式だけでなく、事例を出し合うワークショップも良いですね。

「聴能の評価と聴覚学習」

「聴能」とは何かということがとても分かりやすかったです。指導の映像をたくさん見せて頂き、勉強になりました。こういった風に実際の指導場面、教材を見せて頂けると分かりやすく有難いです。

「中・高等部の言語指導」

子ども達を社会に送り出すために、たくましく生活してもらうために、伝わりあえる言語の大切さを日々感じ参加しました。「わかること」「わかって良かった」と感じさせられる指導をされているなぁと思いました。今後に活かしたいと思います。

「FM補聴器」

今後ますますFM補聴器が増えていく現状を考えるとピッタリの内容だったなあと思いました。よく理解できるように器具等準備をさせていただいて本当にありがとうございました。

「人工内耳(マッピング)」

マッピングのデータをもらっても全くわからなかったのが、大変勉強になりました。人工内耳の子どもとコミュニケーションしていて、1対1と集団場面の差をとっても感じていました。これから今日の話を活かしたいと思います。

「障害認識」

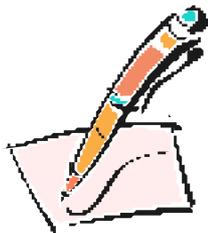
今までの経験をとおして、聴覚障害をもつ者が「自己認識」を肯定的に行う中で、「自己概念」をつかっていく過程を話して下さり、分かりやすかったです。その過程の中で、指導者としてどのような支援ができるのか考えさせられました。

「デジタル補聴器の機能」

実際に補聴器の音をきかせてもらい、子どもたちがどのように聞いているのか、少し近づけたように思いました。指向性やリニア・ノンリニア、雑音抑制などの機能があることはきいて知っていましたが、その音やきこえのちがいを体験できてよくわかりました。

「運営について」

1日目、2日目の昼休みの時間について、各講習会場への案内について、レジュメ・資料について、教室やイスについて等色々なご意見をいただきました。



その他、たくさんの感想・ご意見をいただきました！
今後の参考にさせていただきます。

ありがとうございました。



自立活動（幼稚部）



補聴器・人工内耳の保守管理



デジタル補聴器フィッティング



入門講座



文字による情報保障

今後の活動計画

平成22年10月30日(土)

秋の講演会(大阪府社会福祉会館)

『K-ABCの結果から聴覚障害児への学習支援を考える』

鳥越 隆士 先生(兵庫教育大学)

12月 中旬

冬の学習会案内、機関紙34号発行

平成23年 1月28日(金)

第3回代表委員会(奈良県立ろう学校)

29日(土)

冬の学習会(奈良県文化会館)

『乳幼児の言語発達-助詞や動詞の理解と活用-』(仮)

瓜生 淑子 先生(奈良教育大学)

『人工内耳をめぐる諸問題-医療と教育の連携-』(仮)

大学病院STの方と交渉中

3月 中旬

集録第12号発行・機関紙35号発行



学校公開のご案内

学校公開等のご案内です。必ず該当校で詳細を確認の上、ご参加ください。

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

日時：10月13日(水)

日程：8:15~8:30 受付

8:30~8:40 諸注意

8:40~15:45 学部体験

16:00~ 寄宿舍・部活動

見学(希望のみ)

お問い合わせ先

姫路聴覚特別支援学校 教務部まで

TEL：079-284-0331

FAX：079-222-5237

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校

学校説明会

10月13日(水) 保育相談部、

小学部、高等部

10月14日(木) 幼稚部、中学部

日程：9:00~9:20 受付

9:25~9:55 全体説明

10:05~12:00 学部説明会

12:00~12:30 個別相談

寄宿舍見学(希望者のみ)

場所：本校大会議室

申込み・問い合わせ

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 教頭

まで

TEL 078-709-9301

FAX 078-709-0371

大阪府立堺聴覚特別支援学校

日時：11月1日(月)、2日(火)

日程：9:00~9:30 受付

9:30~12:00 授業見学

12:00~ 小学部のみ

説明会があります。

申し込み・お問い合わせ先

10月22日までに、お申込みください。

詳細は堺聴覚特別支援学校 教頭まで

TEL：072-257-5471

FAX：072-257-3310



近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

事務局長 中井 弘征

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

TEL：0743-56-2921

FAX：0743-56-8833

メール：h-nakai@indigo.plala.or.jp